

令和5年度 学校評価・学校関係者評価実施結果報告書

岡山県理容美容専門学校

1. 教育目標

本校は、実践的な理容・美容の職業教育を行い、これからの社会のニーズに対応できる優れた理容師・美容師を養成する理容美容専門学校である。

そのためには、一人一人の学生に基礎技術から専門的な技術・技能・知識の修得が出来るよう教育環境を整え、その中で理容・美容業の厳しさや楽しさなども体得させながら、理容・美容業に誇りを持った学生の育成に努めなければならない。そして、何より、理容・美容業がお客様に満足してもらえる技術とサービスを提供する業であることを認識させなければならない。

そこで、本校では従来から次の教育目標を掲げている。

- ・誠意----すべてのお客様に対して、真心を持って接することができるよう、日常において接客の心構えを持たせる。
- ・熱意----いかなる時でもお客様が満足できる結果が得られるよう、一生懸命頑張れる精神力を養う。
- ・創意----お客様に満足してもらえる必要な知識、技術、快適な施設や設備など、常日頃からよりよいものを創り出そうとする意識を持たせる。

これらの教育目標は、在学中はもとより理容・美容業に従事する上で、生涯持ち続けてほしいと願っている。

2. 本年度の重点目標と計画

① 学生募集活動の充実

コロナ禍における体験入学では三密を避ける為、体験型の理容・美容実習ができなかったが、以前のような体験型を徐々に増やし学生がより明確に進学のイメージができるように内容の充実を図る。また、本校体験入学の特色として理容科・美容科教員による技術披露を積極的におこない、多様化する技術・知識が幅広く学べるよう発信していく。

② 教育活動の充実

一昨年はコロナの影響で校外コンテストの実施がまだまだ少なかったために、校内のコンテストを充実させた。本年度は校外コンクールの開催も活発になり、積極的に校外コンクールへの参加を促し、技術面と精神面の両方から学生のモチベーションを高めるために、サポート体制を充実させる。

③ 社会貢献・地域貢献

近隣の地域清掃に加え、うらじゃ活動や他の教育機関との連携授業や教員による福田小学

校での「お仕事体験教室」への参加、学生による第6回岡山こども未来ミュージカル「ハロルド」にヘアメイクのボランティア参加など、地域の方だけでなく本校にとっても有意義なイベントに参加することで様々な社会貢献・地域貢献を行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1 0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1 0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1 0
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本年度は、本校創立70周年を迎えて11月に記念式典を行った。在学生をはじめ、多くの業界関係者、来賓の方にご臨席賜り盛大な式典となった。記念すべき年度であったために、本校学生のアンケートでは、学校の教育理念や目的は約99%、学校の沿革は98%と大変高い肯定度となっている。

学生にも記念誌を配布し、保護者の方にも学校に対する理解を深めていただくよい機会になったのではないかとと思われる。

② 今後の改善方策

今年度は70周年記念事業に絡め、後援会とも協力しながら学校の沿革、将来の構想など保護者の方にも周知することができた。なお、来年度も年間100回前後アップしているホームページ等様々な学校の取り組みを見ていただけるように学生を通じて周知していきたい。

(2) 学校運営

番号	評価項目	評価
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	④ 3 2 1 0
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1 0
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1 0
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1 0
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1 0
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

例年通り令和5年度の学校運営方針は、前年度末の学園理事会において決定され、その後の職員会議において教職員に示されている。給与規定等についても明確にしておき、教職員が安心して勤務に専念できるよう、常に風通しの良い職場環境を第一に考えている。

社会全体の若者のモラルの低下が叫ばれている昨今、更なるコンプライアンス体制を整備していくことが求められる。

② 今後の改善方策

業務の効率化を図るために、順次最新OS搭載のパソコンへ入れ替えを行う。

(3) 教育活動

番号	評価項目	評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1 0
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1 0
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1 0
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1 0
3-5	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置付けられているか	④ 3 2 1 0
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1 0
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1 0
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1 0
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1 0
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1 0
3-11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1 0
3-12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

現在、理容師免許および美容師免許のダブルライセンスを取得している教員は1名在職している。現在の教員数は充足しているが、入学者数の増加にともないダブルライセンスを取得した教員を更に増やすよう理容科、美容科各1名の教員の人材育成を行っている。

② 今後の改善方策

昨年度の改善方策として理容科美容科を両方備えた特色を生かし理容美容の垣根を超え

た相互授業の実施を検討するとしていた。実際に総合授業内で美容科教員による理容科学生へのネイル授業を行い学生にも好評で、理容科の新卒学生が昼間課程の美容科トータルビューティーコースへ進学した。さらに授業内容を充実させるために令和6年度は美容科教員による理容科学生へのエステ授業を行い、理容科教員による美容コース学生への刈り上げの授業を予定している。

(4) 学修成果

番号	評価項目	評価
4-1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-3	退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1 0
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

退学率の低減については、令和4年度が前年度より高くなっていたために、改善方策として1年次に退学者を出さないように教員間で情報を共有し退学率の低減に努めた。結果として美容科は3.7%と低かったが、理容科が12.9%と大変高い退学率となってしまった。進路変更による退学が多かった。

② 今後の改善方策

退学や休学等を考える学生に対しては、保護者と連携を密にして学生が抱える不安や悩みなど十分な話し合いを行い安易な進路変更を行わないようにサポートしていく。

(5) 学生支援

番号	評価項目	評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1 0
5-7	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1 0
5-8	卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1 0

おいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

課外活動に対する支援体制として、学生の活動である「うらじゃ連」への参加者には衣装や小物の負担は学校が行い、参加を希望する学生が経済的な理由で断念することがない

ように積極的に支援している。校外コンクールの学生大会への参加者についても中国地区大会前の支援は後援会から必要経費の半額負担を、全国大会前の支援は学校の方から必要経費を全額負担し支援している。

② 今後の改善方策

学生大会の中国地区大会参加への支援は前述のとおり後援会が半額負担をしているが、競技種目によって必要経費の差があるので、必要経費がかさむ部門については、負担額引き上げを提案し、経済的理由で参加を断念する学生が出ないように改善していく。

(6) 教育環境

番号	評価項目	評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1 0
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1 0
6-3	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

コロナ禍にあり、前年度まで実務実習を中止していたがコロナも5類に移行したため、1年生に関しては実務実習を再開した。コロナ前同様に12月と3月の時期に実務実習を実施したが、業界の方から繁忙時の実務実習は指導が行き届かず有意義な実務実習が行えないとのご指摘を受けた。

② 今後の改善方策

令和6年度は12月の繁忙時期の実務実習を10月に変更し、学生にとって実りある実務実習にしていきたい。防災に関して今年度はAED講習を実施できていなかったのも、コロナ以前同様に外部の業者に依頼し人命救助の場面に遭遇したときでも躊躇することなく対応できるように体制を整えていきたい。

(7) 学生の受入れ募集

番号	評価項目	評価
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④ 3 2 1 0
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1 0
7-3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1 0
7-4	学生納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

学生募集活動において資格取得・就職状況等の情報はパンフレットを通して伝えられているが、体験入学内でパワーポイント等を使用しながら説明を入れた方がより分かりやす

く伝えることができると思われる

② 今後の改善方策

ホームページにおいて資格取得の種類、就職状況や教育内容、シラバス等の内容を学生及び保護者、高等学校等接続機関に対してより詳細な情報提供を行う。

(8) 財務

番号	評価項目	評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1 0
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1 0
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本年度も本校の学園会計を指導する指吸会計センターから、本年度の学園会計は健全であり財政基盤は安定していることの報告を受けた。また、学園監事により学園・学校運営や資金収支においても適正であることの監査報告を受けている。なお、これからもより一層の透明性と健全経営を図っていく所存である。

② 今後の改善方策

少子高齢化により入学者数の減少を懸念しているが、最近の傾向として理容科入学者の増加が挙げられる。これは、中四国の養成施設では理容科を設置している学校が少ないので、本校の理容科を志願してくると思われる。今後とも理容科・美容科の退学者休学者を低減し授業料収入を中心とする財政基盤の安定と予算の厳格化に努めていく。

(9) 法令の遵守

番号	評価項目	評価
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1 0
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1 0
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1 0
9-4	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

例年通り、理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則及び専修学校設置基準に基づき適正に運営を行っている。

学生アンケートを前期・後期に2回実施し、各分類項目の分析を行い問題点の解決をはかった。また、教職員による自己評価の結果に基づいて、学校関係者評価委員会において、客観的評価を得て学校運営の改善を行っている。

② 今後の改善方策

学生アンケートでは、項目の評価以外にも文章で改善してほしいこと、満足していることなどを書かせるようにしており、そのすべての内容に目を通し、改善すべき点は改善している。

次年度においても関連する業界団体と連携協力し、自己評価での問題点や学校関係者評価での提言を受け入れて、よりよい学校づくりに励んでいきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1 0
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

③ 特記事項

年に2回近隣の地域清掃を行っている。

また、物理的・時間的の許す限り社会貢献・地域貢献や他の教育機関との連携授業並びに施設使用の提供を行っている。

- ・豪雨災害時における緊急避難場所-----岡山市大元学区連合町内会
- ・チャレンジワーク！お仕事体験教室-----岡山市立福田小学校
- ・うらじゃ祭り（うらじゃ踊り参加とメイクボランティア）-----うらじゃ実行委員会

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和5年度の学校運営について、在学者数並びに入学者数はここ数年連続して順調である。また特に近県にある理容師養成施設の閉校に伴い、特に理容科の入学希望者が増加傾向にあり、学校運営の安定的基盤を築いている。

コロナも5類に移行し体験型の募集活動に戻すことができた。授業内容等に直結する体験型の募集活動を行うことにより、学生には明確な進学後のイメージができたのではないかと思う。校外コンクールも活発になり始めてきていたので、学生への促しを積極的に行った結果、1年生であっても校外コンクールに挑戦する学生も多くよい経験となったのではないかと思う。

退学率の低減を図るために様々な取り組みをしているが、細やかな面談の実施に加え、魅力ある授業内容の充実に一層努力していかなければならない。社会貢献・地域貢献に関しては年2回の地域清掃、他の教育機関との連携授業等積極的に実施してきた。コロナで中止となっていたうらじゃに関しても再開2年目であった令和5年度はコロナ以前と変わらない参加者数となり大きな盛り上がりを見せた。来年度も積極的に社会貢献・地域貢献に参加することで、地域での本校の存在価値を高めていけるようにしたい。